

大島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	実践英会話	
科目基礎情報							
科目番号	0041			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	プリント配布						
担当教員	開講しない						
到達目標							
このクラスでは、実践的な英語の運用能力を要請する。 (1) 英語の発音が正しくできる。 (2) 自分の意志を英語で伝えることができる。 (3) 相手が話す英語の内容を聞き取り、理解することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	英語の発音が正しくでき、発音記号も理解できる。			英語の発音が正しくできる。		英語の発音が正しくできない。	
評価項目2	自分の意志を自在に英語で伝えることができる。			自分の意志を何とか英語で伝えることができる。		自分の意志を英語で伝えることができる。	
評価項目3	相手が話す英語の内容を聞き取り、理解することができる。			相手が話す英語の内容を聞き取ることはできるが、理解が不十分である。		相手が話す英語の内容を聞き取ることも、理解することもできない。	
学科の到達目標項目との関係							
本校 (1)-a 商船 (2)-c							
教育方法等							
概要	実践的な英語の運用能力を養うことを主眼とする。						
授業の進め方・方法	演習方式で授業を進める。学生は自発的に英語で話すように心がけること。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	Lesson 1		英語のつづりと音との関係を理解できる。英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。英語の発音記号を見て、発音できる。リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。		
		3週	Lesson 2		英語のつづりと音との関係を理解できる。英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。英語の発音記号を見て、発音できる。リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。		
		4週	Lesson 3		英語のつづりと音との関係を理解できる。英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。英語の発音記号を見て、発音できる。リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。		
		5週	Lesson 4		英語のつづりと音との関係を理解できる。英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。英語の発音記号を見て、発音できる。リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。		
		6週	Lesson 5		英語のつづりと音との関係を理解できる。英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。英語の発音記号を見て、発音できる。リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。		
		7週	Lesson 6		英語のつづりと音との関係を理解できる。英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。英語の発音記号を見て、発音できる。リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。		
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	Lesson 7		相手が明瞭に毎分100語程度の速度で、自分や身近なことについて基本的な表現を用いて話す場合、その内容を聴いて理解できる。		
		10週	Lesson 8		自分や身近なことについて、前もって準備をすれば毎分100語程度の速度で約1分間の口頭説明ができる。		
		11週	Lesson 9		相手が明瞭に毎分100語程度の速度で、繰り返しや言い換えを交えて話し、適切な助言、ヒント、促しなどが与えられれば、自分や身近なことについて口頭で簡単なやり取りや質問・応答ができる。		
		12週	Lesson 10		相手が明瞭に毎分120語程度の速度で、自分や身近なこと及び自分の専門に関する簡単な情報や考えを話す場合、その内容を聴いて理解できる。		
		13週	Lesson 11		自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報（例：実験成果など）や考えについて、前もって準備をすれば毎分120語程度の速度で約2分間の口頭説明ができる。		

		14週	Lesson 12	相手が明瞭に毎分120語程度の速度で、繰り返しや言い換えを交えて話し、適切な助言、ヒント、促しなどが与えられれば、自分や身近なこと及び自分の専門に関する簡単な情報や考えについて口頭でやり取りや質問・応答ができる。
		15週	Lesson 13	相手が明瞭に毎分120語程度の速度で、繰り返しや言い換えを交えて話し、適切な助言、ヒント、促しなどが与えられれば、自分や身近なこと及び自分の専門に関する簡単な情報や考えについて口頭でやり取りや質問・応答ができる。
		16週	学年末試験	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	0	0	0	20	100
基礎的能力	60	20	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0